科学あそび

めでタイカードをつくろう
～磁石の実験～

開催報告



日時
2026年8月23日(日)
午後2時～4時

参加者数
小学生32人

場所
ルミエール府中1階
第1・2会議室

講師
科学読物研究会会員
坂口美佳子先生

内容
科学読物研究員会員　坂口美佳子先生をお招きし、磁石について講義を行っていただいたほか、様々な磁石の磁力を比べる実験などを行いました。

最後に、磁力によってタイが動く「めでタイカード」を作成しました。子どもたちはカードに好きな背景や模様を描きました。

磁石について、
みんなで考えました



みなさんは、どんな磁石を
知っていますか？



みんなで知っている磁石を出し合いました。

次に、
昔の磁石・磁鉄鉱と、
世界一強い磁石・ネオジム磁石に触れました。

強力な磁石は、指を挟まないよう
一つずつ慎重に触れました。







▲強力な「ネオジム磁石」



▲古い磁石「磁鉄鉱」

磁石は
どんなものにつくかな？



まずは、みんなで予想してみました。

つく

- くぎ（鉄）
- 昔の50円玉（ニッケル）



つかない

- 1円玉（アルミニウム）
- 5円玉（しんちゅう）
- 10円玉（どう）
- 100円玉（はくどう）
- 1万円札（かみ）



強力なネオジム磁石なら、1万円札の偽造防止の加工部分につきました！偽造防止のために工夫されているのです。

「どうして、日本のお金は磁石につかないの？」

「日本の自動販売機には磁石が使われているから。もし、お金が磁石につくとしたら、自動販売機にお金を入れたとたんに、お金がピタッとくっついてしまうかもしれないし、磁石の力でお金を分けているからだよ。」

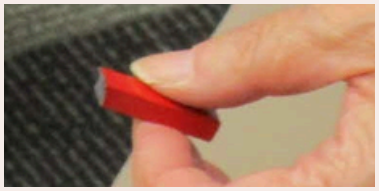
「カナダでは磁石につくお金が使われているよ。ヨーロッパのユーロは、お金のまん中の部分には磁石がつくけれど、はじっこの色がちがう部分にはつかないよ。」

磁石のふしぎを実験しました



同じ極どうしを近づけると、磁石は離れます。







棒磁石を割っても、
それぞれの磁石にN極とS極ができます。

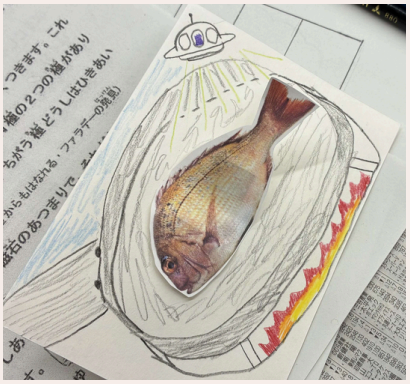
みんなで、めでタイカードをつくりました

カードにタイを貼り、それぞれ好きな背景や模様を描きました。



海の上をタイが
飛んでいるのかな。

タイの下には
フライパンが！



カードのうらの磁石を動かすと、磁力でタイがピチピチと動きます。

最後に先生がおすすめの本を紹介してくれました

